

チーム医療教育の昭和大学における

平成 25 年度マダガスカル口唇口蓋裂医療協力報告会

口唇口蓋裂に苦しむマダガスカルのこどもたちを救うため、昭和大学では昨年につき、笹川記念財団の「マダガスカル口唇口蓋裂医療協力」に医師、看護師とともに学生も参加し、医療チームの派遣を行います。6月18日から7月2日まで実施の医師4名、看護師3名、学生4名によるマダガスカル共和国のクリニックアベマリア病院での医療協力についての報告会を開催します。昭和大学関係者はもとより、チーム医療、国際協力に関心のある方の聴講を歓迎します。

日 時 平成25年7月11日(木) 午後5時30分から午後7時30分

場 所 昭和大学4号館600号室

開会の辞

挨拶

挨拶

昭和大学薬学部長

学校法人昭和大学理事長

本事業発起者

山元 俊憲

小口 勝司

作家 曾野 綾子 氏

マダガスカル口唇口蓋裂医療協力の概要 昭和大学医学部形成外科学 准教授 土佐 泰祥
医療協力参加報告

看護師の立場から

医学生の立場から

歯学生の立場から

薬学生の立場から

看護学生の立場から

昭和大学横浜市北部病院 看護師

昭和大学医学部6年

昭和大学歯学部6年

昭和大学薬学部6年

昭和大学保健医療学部4年

芳賀 弘幸

香川 景子

橋本 アメリー

有賀 三希子

小暮 優希菜

マダガスカル共和国を代表して

昭和大学大学院医学研究科1年

NIRINA ADRIEN

MANDRANO

報告総括

閉式の辞

学校法人昭和大学総括病院担当理事

昭和大学保健医療学部長

小出 良平

副島 和彦

※ 報告会参加対象:

昭和大学関係者(職員、学生)

一般(国際医療協力、チーム医療に興味ある方、どなたでも入場できます)

